

## 一橋陸上競技倶楽部理事会議事録

日時 : 2018年4月4日(月) 18:30~20:30

場所 : 如水会館 14階記念室東

出席者(敬称略):

(理事会) 浜田、岩瀬、田島、大鳥羽、井田、中村(龍)、日渡、伊丹、中村(英)、後藤(監事)

(学生幹部) 高島主将、浅沼副将、河野主務、浅井津田塾主将

### 1、新入部員の勧誘状況について

4月4日時点で、5人確定。内訳は競歩2名、フィールド(槍、高跳び)2名、女子中長距離1。さらに10~15名見込みあり。連絡先のストックは50名ほど。津田塾も10人ほど見込みあり。

### 2、OB・OG戦兼懇親会について

6月16日(土)開催を確認した。今年は昨年の45人よりも少なくとも10人は多いOBOGの参加を目標としたい。浜田会長より「どういった内容にするかは本来的には学生から企画案を出してもらいたいと思っているが、日渡理事にまとめ役をお願いし、学生の提案も吸い上げながら検討を願いたい。普段走ったりしていないOBOGもこの機会に国立のグラウンドに行ってみようと思わせるようなメニューも検討してほしい。」旨の指示あり。日頃体を鍛えていないOBOGへの配慮から、競歩とかストレッチなど、無理なくやれるメニューも検討してもらえれば。但し、全体の時間がキチキチになるので、それとの相談ということになる。

### 3、OB・OG訪問のスケジュールおよび訪問対象者について

昨年の成果として、「現役の諸君が訪ねて来てくれて最近の陸上部の活躍の話など聞くことができてよかった。」という声を多く聞くことができた。今年も継続して展開することにし、時期は学生の授業に差し障りのない夏休みの時期8月を中心に考える。津田塾の一部の部員からも参加させてもらえればという声があり、理事会としては歓迎するところである。学生の負担が大きくなる範囲で訪問先を昨年よりも増やす方向については特段の異議が出なかったため、昭和60年入学から今春の卒業生を対象年次とし且つ千葉県下勤務者まで広げることで、訪問対象者リストの再作成を6月末までに整備することとなった。なお、如水カード引落とし会員も訪問対象にするか否かについては賛否両論あるが、訪問によってコミュニケーションを太くし学生諸君とOBOG間の親密化を増強することが本来的な狙いという視点に立ち戻り、カード引落とし会員も訪問対象とするとなった。どの先輩をどの現役部員が訪問するかについては、学生に一任する。

### 4、監督・助監督・各パートコーチの体制整備について

学生は、誰がどのパートのコーチかの認識が必ずしも明確になっていない現状に鑑みて、コーチになっているOB本人の意識改革も必要であり、定期的に部内で《コーチを囲むミーティング》を行うなど真剣に考えるべきだ。パート別コーチの氏名、卒業年度、顔写真を表示した「コーチ一覧表」といったものを部室に貼り出して、「見える化」をするなどの工夫取り組みも検討してもらいたいとの提案も出された。

## 5、早稲田実業生徒へのグラウンド使用について

高島主将から、来週（4月13日の週）から本件スタートすることになっている旨、報告あり。  
先方短距離陣は月曜日、長距離陣は金曜日という振り分けで週2回ペースで合同練習をすることになる。早実側も「合同練習させてほしい」姿勢で話をしてくれている。理事会も了承。但し、岩瀬幹事長から、「トラックの養生保全の視点から、練習時には第1レーンおよび100mのスタート地点は使用させないように」と指示が出された。覚書に盛り込むと同時に普段から注意喚起を現役部員も忘れないようにすることとの指導があった。

## 6、倶楽部に対して疎遠なOB・OGの活性化策について

会長から、高齢の倶楽部員が自然の理で減少していく一方で倶楽部に疎遠なOBOGが増えていくとなると会費の徴収も悪化が進み、現役の活動に対する財政面での支援が先細りになり大変な問題になる。中村（英）理事から、ホッケー部が行ったアンケート結果の紹介がなされた。それによると、現役時代に部の三役やパートチーフを務めた人とか部に愛着を持っている人は、試合の応援にも来る。結婚して間がないとか子供が小さいといった世代の人は応援に来ない人が多い。会長からは、「応援に来てくれたOBOGの名前をHPに掲げてお礼を表すようにしてほしいと常々言ってきた。最近はその実践されているので是非引き続き継続をお願いしたい。また、応援に来てくれた先輩の前で、主将なりが旗を振って新入生の自己紹介（出身校、専門競技）を一人一人させる。」など要望が提示された。

## 7、その他

・上記6とも関連するが、対校戦などの事前お知らせをメールでしていると聞いているが、そういうメールをもらったことがないという声あり。そもそも現在部員が毎度使っているメールアドレスのデータベースが最新のものでない懸念があるのではないかということになり、中村名簿担当理事が整備している最新名簿データのメールアドレスを利用することとなった。

・岩瀬幹事長から「対校戦の当番校に当たる場合は、相当にきちんとした準備が必要だ。数年前にとっても良くできたマニュアルがあったが、ちゃんと引き継がれて活かされているか？」と。どうも人から人への引継ぎは、知らない内に引き継ぎ漏れが生じたりする。HPの中にちゃんと保管しておいて、年次が移り変わっても誰もがきちんと思えることができるようにすることも必要だ。

・ハンマー投げと円盤投げを同一の網からプレイする場合、陸連のルールが1年少々先に更改されることになっている。我がフィールドも公認を維持するために、網の改良を避けては通れない。抜かりない準備が必要なので頭に入れていくように、と岩瀬幹事長から話あり。

・練習時、強い向かい風の場合、助走に無理な力が加わり怪我をする危険がある。幅跳びの砂場を走路の反対側にも設置するのが良いと田島理事から提案があり、前向きに検討していくべしと認識された。

以上